



東北大学

令和6年度 一般選抜入学試験 個別学力試験
出題意図

(フランス語)

前期日程

大問 1

・ 出題意図

本問題は、中級レベルの平易なフランス語で書かれた論理的な文章を、受験者が正確に訳すことができるかどうかを判断する問題です。この文章は、科学雑誌に掲載された記事の一部で、自尊心というものが人間の生活において果たしてきた役割について語っています。文章の特徴としては、科学的な知見やその概念の歴史の変遷を踏まえた上で結論付けている点が挙げられます。読解にあたって重要な点は二点あり、一つは、文脈を正しく理解することができるかということ、もう一つは、文章の中で鍵となる言葉の意味を正確に把握した上で、読み易い日本語の文章にまとめているか、という点です。この二つの点をクリアーできていれば、十分に評価されることになるでしょう。

大問 2

・ 出題意図

本問題は、大問 1 と同様に、中級レベルの平易なフランス語で書かれた文章の読解力が要求されますが、それに加え、その要点を限られた字数（150 字以内）の日本語で的確にまとめる能力が求められています。今回の文章は最近の新聞記事から、とくに科学的な題材を扱った内容を取り上げました。この文章は、人間と犬が、自分と同じ種や異なる種をどのように認識しているのか、そして、その能力の違いがどのような点に存在しているのか、ということについて極めて明快に語っており、読解に混乱が生じる恐れはありません。この種の問題においては、論旨の要となる個所を正確に見極め、それを確実に把握することが重要です。その上で、説得力のある日本語の文章にまとめ上げることができれば、十分に評価されることになるでしょう。

大問3

・出題意図

時事的なテーマを題材として、フランス語で自分自身の考えを的確に表現することができるかどうかを問う問題です。与えられたテーマに合致した文章を書いているかどうか、また、文法的に正確な文章（直説法現在、複合過去、半過去、条件法現在など、法や時制を正しく用いた文章）を書いているか、与えられた字数（150字程度）に沿った文章が書かれているか、といった点が評価の基準となります。

○志願者へのメッセージ

大問1と大問2は、基礎的な語彙レベルで書かれた文章を正しく読み、わかりやすい日本語に訳すこと、または要約することが主眼です。当然ながら、基本的な単語や熟語の習得と文法運用能力の上達が必須となります。また、答案を適切に作成するには相応の日本語の文章力も要求されます。外国語学習は日本語能力の鍛錬の場でもあることをあらためて意識してください。

大問3の仏作文は、指定された語数が150語程度となっており、ある程度の計画性、構想力が必要となっています。提示された条件に合わせてどのような内容を盛り込み、どのような構成で書くのかを最初に俯瞰的に考えて、簡単なプランを立ててから書いてみるのも効果的だと思います。また、この問題で試される語学能力はかなり重要なものであるため、抜かりなく準備をするよう、普段から心がけてください。